

ふるさとルネッサンス委員市長対談 2021
東京・関西勝山会から 他



本町通り上袋田区付近の除雪の様子
(左上) 38豪雪時のおたね坂の様子
(右下) 56豪雪時の本町通りの様子

ふるさと、雪事情

ふるさとルネッサンス委員会委員 荒尾 るみ子

「雪はどつ、だいが降ってる。」

今年も、市内外から見舞いの電話やメールが相次いだ。今年も、というのはついこの間もという意味が含まれている。そう、三年前の記憶がよみがえるからだ。確かにこれまで、「〇年ぶりの大雪」という言い方をするとき、この〇の中には、かなり大きな数字が入っていた。例えば、何十年というように。それに、この二年の暖冬に慣れた我々は、すっかり油断していた。仮に降ったとしても、まさか大雪にはなるまいという思いが、心のどこかに存在していた。

全国版のニュースで流れる北陸自動車道や八号線の立往生の様子に驚いた方々は、一体勝山市ではどのくらい降っているのだろう、大丈夫なのだろうかと気になったに違いない。しかも、「三年前の教訓が生かされず」というような見出しが添えられると、ますます心配が大きくなったことだろう。

けれども、地元の我々が気になったのは、積雪もさることながら、降りつぶりのすこさであった。記録によれば、短期間での連続降雪量は、豪雪年と言われた昭和五十六年よりも、平成三十年よりも上回っているではないか。とにかく、掻いても掻いても降り積もるといふ具合であった。

・雪掻きのもつあと少し西明り

そついえば、我が家のモズの生贄は、庭木の一番上にあつたのだが、近頃ではそのような先人の知恵を、一気に飛び越えてしまうような想定外の災害が、雪に限らず、地球のあちこちで起きている。まさに自然の驚異を感じないではいられない。

それでも、雪が消えてしまうと、我々は、夜を徹しての除雪作業や、あたたかい数々のご支援、ご近所さんとの助け合いのありがたさなどを、残念ながら忘れてしまいがちである。

今年も、勝山名物の「年の市」や「左義長」がコロナ禍で実施されないまま春を迎えることになる。今こそ静かにじっくりパワーをためて、さらに一段と元気な勝山をアピールしたいものである。

・恐竜の眠りぬし山若葉なる

ルネッサンス委員市長対談

2021

今回の対談は、水上新市長に勝山市政への思いをお聞きすると共にふるさとルネッサンス委員とテーマを設けて意見交換を行いました。その模様をお知らせいたします。



◆ 勝山市政全般について



ルネッサンス委員長
阿部 光郎

阿部委員長 市長の方から、当初予算や考えるまちづくりに対してお聞かせ願

いたい。

水上新市長 令和2年12月26日に第18代勝山市長として就任した。皆様と一緒にまちづくりを進めていきたい。

日本の人口が少しずつ減っていく、勝山市も人口減少に歯止めがかからない状況。

観光の産業化を荒井会頭と山岸前市長が進めてきた。軌道に乗る時期に新型コロナウイルスで人の移動がストップしたのはタイミングが悪かったが、もう一度勝山市の現状を見つめなおして、未来に向けて進んで行くチャンスでもある。



勝山市長
水上新 実喜夫

コロナ禍にあっても身を縮めるだけではなく観光の産業化への挑戦を続け

たい。感染症対策をしながら、地域の経済対策を進め中小の事業者の支えをしていくのが勝山市の役割だと思っている。令和3年度の当初予算と令和2年度の補正予算を合わせ、対前年度比にして同額の予算を盛り込んだ。市民の安全と安心を守り次のステップに行く準備をしたい。

今年の大雪を始めとする様々な災害に対し市民の皆様方へ安全と安心を提供していくのは、基礎自治体として最も大事な仕事。

職員として担当してきた子育て支援策、障がい者の福祉政策を市長と

して進めていきたい。学校関係では、9市の中で最良の教育環境を作りたい。新型コロナウイルスで休みの間に遠隔授業をするとか、あるいは仕事を在宅勤務するとか、会議をWebでやるといったことが現実起きてきている。しっかりとITを活用していく、役所全体としてDXに対応していく、子ども達に対して情報教育をすると同時に大人も情報モラルについてしっかり考える、ITアドバイザーの起用も含めて取り組んでいきたい。そして安全安心や福祉に重点を置きながら、将来への投資をしていく、何よりも新型コロナウイルスのワクチン接種を皆様にご迷惑をおかけしないように早く実施する。

◆ 市立学校の統廃合と勝山高校存続について

阿部委員長 それでは、テーマに沿って水上新市長に伺ってみたい。

まず教育のことですが、小中学校の統廃合の問題、勝山高校の問題についてお話を聞かせ願いたい。



ルネッサンス委員
四谷 由起夫

四谷委員 統合問題の中で教科担任がいなくて少ない学校の方が多い学校の方

が良いとかいろんな意見が出ましたけど、少ないなら少ないなりにいいところがあるし、慌てて統合しなくてもと言っ考えも持っている。それからもう一つは高校と連携してという話があったが、福井市では中学との一貫教育をやっている。大野と勝山二つ高校があるけれど一つでいいのではないかなという考えもある。職業系が一つあり

ますので、大野へ2つ高校が行くのは勝山に不満が出るから普通1つ職業系1つという形でと言う考えも持っている。今後何年を目的に統廃合を行っていくのか。高校との連携も何年後を目的にやっていくのか市長の考えをお聞かせ願いたい。

水上新市長 学校の統廃合について、市の財政のための統廃合といったイメージを持たれる方がいるが学校の数が減ると財政的には厳しくなる部分もある。今のまま多くの学校があった方がランニング的に有利です。子どもの送迎にかかる経費などを考えても、学校の統廃合が財政的に寄与するには、30年くらいかかる。財政的に統廃合を進めたいということも考えていないが、うまくそれが市民の皆様に伝わっていない気がする。勝山市は平成16年に統廃合の素案が提示された時に何年か後にもう一回中学校について統廃合を検討するというルールを決めていた。そして、昨年から中学校の統合について議論を再開し、その結果、勝山高校の隣接地域あるいは敷地内で1校に再編が望ましいであろう。という方向性が昨年、検討委員会から示された。そこで福井県に対して、勝山高校の敷地内で建設が可能ですか？というボールを投げた、そのボールが年度内に戻ってくる。それに添って令和3年度に中学校の統合について大きなステップを踏むことになる。自分はこの案に対して妥当であると考えている。小学校については、各地区へ任せようという結論が平成16年にでている。今は、各地区の方から提案をいただいで考えていくのが、ルールとなっている。

これを変えるには、再度地区での議論が必要になってくると思う。地区が総合的に考えて、活力を維持するためにはこういったことをやりたいので学校統合したいという希望があれば受けられる。中学校の方向性が定まってきたから、改めて地区の方に話をしていきたい。

今勝山高校は実入学人員が1000人を切る状況になっている。市内の6割くらいの子くらいしか勝山高校へ行かない。では勝山高校がなくてもいいのかというとほとんどの市民がそうは思っていない。自分もなんとしても残したいと思っている。そのため統廃合の中学校との連携そして県教委が検討している様々なコース設定、バドミントンとか太鼓とかの特徴的なものがあるが、更に恐竜とかジオパーク、ICTの活用などのコース設定をしながら、市外からも入学してもらえような高校になって欲しい。将来的には総合高校の検討も検討して、思い切った進学者への支援、チューターなどの制度を入れたり、ネットワークを使った講師を入れながら職業系のことや、恐竜に興味のある子も、スポーツ系に進む子も幅広い受け皿が望ましい。

四谷委員 是非そういう形で進めたいって頂けたらと思います。

荒尾委員 大変詳しく聞かせていただき自分で思い違いをしていたなあというところが分かった。統合すると財政的には苦しいということだが、私はその逆だと思っていたので知らないことが色々あるなあと思った。

先生方が個人と向き合うってことはICTとか遠隔操作がどうかと



荒尾 みる
委員
ルネッサンス

荒尾委員 大変詳しく聞かせていただき自分で思い違いをしていたなあというところが分かった。統合すると財政的には苦しいということだが、私はその逆だと思っていたので知らないことが色々あるなあと思った。

先生方が個人と向き合うってことはICTとか遠隔操作がどうかと



荒井 由泰
委員
ルネッサンス

荒井委員 自然環境を生かすためにも指導員みたいな人を確保し、自然環境

教育を推進していいほしいと思う。

水上市長 自然環境教育などは小学校から高校までの子らが指導員のもと一緒にいるというのも悪くない。

四谷委員 小さい学校で教科担任を入れようと思うと大変である。一人の先生が各学校へ廻るといいうのも先生の



永井 正美
委員
ルネッサンス

永井委員 勝山市以外から勝山の中学や高校に行きたいという方を増やすため、例えば勝山に行けばこの大学に入りやすいとか高校の時から大学進学のためのシステムが構築されている大学の誘致というのは考えているか。

水上市長 県立大学の新たな学部、例えば恐竜学部を勝山市内で開校してほしいと県にお願している。勝山高校との連携も図ってほしい。

永井委員 勝山市内の中学生が出て行かないような魅力ある勝山高校になって欲しいと思うのですが。

水上市長 遠隔で授業する必要がある。東京の子どもたちと遠隔で討論ができる、大野の子どもたちとディスカッションができる、著名な方々の講演が聞ける、こういったことはすぐに行うべき。そのために、配布したタブレットを積極的に活用して欲しい。同時に先生に直接教えてもらうこと、そして友達と共に経験することとは、リアルに体験しないとできない。これを勝山市の恵まれた自然環境の中で提案していきたい。

小学校も中学校も高校も極めて近いところがあれば放課後学習や児童の放課後預かりもできる、バスで兄弟姉妹を一回で送迎できる、小学校と中学校と高等学校の先生がお互いカバーし合えるような。

荒井委員 勝山をそれくらい魅力のある地域にする。いろいろ経験したことが活かせるような形がいい。実際帰ってきた人たちの成功事例が出てくるとよいと思う。

水上市長 そのとおり。でも、子どもたちには一度は勝山を出てみて欲しいとも思っている。積極的に東京や大阪の大学へ行って、或いは仕事をしながら勝山に帰ってきてほしい。封鎖型でなく交流型の地域作りが出来るとうい。

荒井委員 勝山をそれくらい魅力のある地域にする。いろいろ経験したことが活かせるような形がいい。実際帰ってきた人たちの成功事例が出てくるとよいと思う。

◆勝山の観光について

阿部委員長 次は観光について、特に観光の産業化についてお考えを伺いたいかなと思う。

荒井委員 観光の産業化は山前市長の時から続いています。かつて繊維

産業が勝山の町を席卷して経済が潤ったように、観光も産業というのを念頭において経済が潤うという形まで持って行かないといけない。花月楼から始まってジオターミナル、道の駅というふうなそれまでの計画通りにまちづくり会社を作り経営して、観光の産業化の基礎を作るといのは水上市長がやってこられた。道の駅も立地条件の良い場所に作って頂いた。物販の販売を見てもらうようにしような形になっている。また、スタートしたばかりなので、これを勝山の新しい産業とするには、若い人たちの力をもっと発揮させるべきである。勝山にあれば、仕事があるということで力を発揮してもらえ、新しい可能性を見つけて欲しい。今後の展望はどうか。

水上市長 観光がどの程度地域にとって有用なのかについては担当者のころは悩んでいた。本当に観光の産業化が市民にとって重要なのか。ただ、新型コロナウイルスのせいで観光客がピタッと止り、事業者の方、飲食店の方、関連産業に与える影響は本当に大きかった。自分だけではなく、市民や市議会もその影響の大きさが改めて実感されたと思う。今後も観光の産業化への挑戦を続けていきたいと強く思っている。コロナ終息後は、まず国内観光の需要が高まると思っ

ている。北陸新幹線の福井駅開業、中部縦貫自動車道の全線開通により、関東からの観光客の増加が見込める。関東からの観光客であれば一泊だった宿泊が、二泊になる可能性が高い。そのためには宿泊施設の誘致が必要になる。それも単なるホテルだけでなく、グランピングとかオートキャンプなど幅広いニーズに対応で

きる事業者を誘致してくるというのが大事。

今、長尾山総合公園の中に宿泊施設などを誘致する準備を行っている。加えて、道の駅の隣接地にも事業者を誘致したい。まもなく、イチゴのハウスが3棟立つ。また、スキー場の火を消さないというのも観光では大事な事だと思っている。スキージャムへの支援は必要だ。観光の産業化への挑戦をしていきたい。

荒井委員 商工会議所でも観光事業を頑張ってみようとかという方を増やせないか、地元でもそういう事業に挑戦する方を応援するようにしないとよいと思っている。

水上市長 観光の新年度予算の中で、移動販売車の購入に対しての補助を行う。500万円上限での4/5を補助する。6台分くらいの予算を持っているが、必要に応じて補正も考えたい。事業者を強力にサポート出来るような体制を作る。



ルネッサンス副委員長
森本 陽子

森本副委員長

ゆめおーれと花月楼と七里壁などをつなぐルートをこんな風に

歩けますよということをするのと良いのではないが。

荒井委員 「ブフ花月」と銘打ってガイドの人がついてまちなか観光をするという仕組みがある。

森本副委員長 ボランティアガイドがいるのか。

水上市長 花月楼で申し込んで、ガイドをしながらまちなかを案内している。

荒井委員 深くちゃんと観光地を説明すれば、観光客は感動していただ

る。平泉寺も発掘現場とかを案内すると、悠久の思いにはせてもらえる。

森本副委員長 市民が市内観光地を勉強しないとけない。

◆令和3年の大雪について

森本副委員長 今年の冬の大雪が、1月8日〜12日まで大変だったんですけども、その時に困って感じたことなのですが、除雪する基準はあるのか。

水上市長 基準は10cm。ただ今回の大雪はわずか48時間で195cmの積雪があった。県や市の除雪能力には限界がある、昼間は交通量があるため事実上除雪できない。したがって除雪するには、早朝と夜間になる。昼の間に降る雪の量によっては、通行が出来ない路線がでてくる。また雪押し場がいっぱいになる。これらが続くと市民生活に支障をきたす。それが今出てしまった。物理的な問題は越えられないことを痛感している。

森本副委員長 道路は全部除雪してくれるような体制になっているのか。

水上市長 市道は総延長440kmある。そのうちの6割程度の除雪を実施している。

来年度は新たに小型除雪機を公共施設に配備する。職員が施設周りや近くの生活道路の除雪を手伝える体制を取りたい。大型除雪車は県道の除雪ができないと市道に入れない、市道の幹線の除雪が終わらないと枝道へ入れない。枝道へ入れないと生活路線の除雪はできない。これも市民からはネックになっている。

そこで、生活道路の除雪を素早くできる手筈を考えている。

阿部委員長 融雪のある路線には除雪車が入らないという事だったけど、本町で言えば融雪も効かなかったし、流雪溝の水が来ないので雪のたまりになってしまった。一度検証をして頂いて欲しい。沢に行くくと水が溢れるほど出ている状況であった。

水上市長 本町通りの融雪装置は24時間水が出る構造ではないのでそれを改修する。流雪溝については、区長と協議をして流域ごとの雪流しについてのルールを決める必要がある。

明日同じ事が起きても(大雪)やはり同じように生活が止まってしまふと。物理的な限界があるが、今冬の経験を踏まえて、必要な事をやりたい。

◆U・ターン施策について

永井委員 U・ターンですが、広報の中でもU・ターンされた方の記事を毎回載せていらっしやるその中で、勝山に来てよかった、戻ってきてよかったというのがわかる内容になっている。テレビ等で報じられているような、税金を優遇するとか空き家を改築して提供するといった、市街の方々を呼び込んで定着してもらい、地域の方と一緒に暮らしていけるような施策はあるか。

水上市長 人口を維持するための1つの方策として、U・ターンは重要。中でもU・ターンが重要だと考える。都会に出た人が誰かを連れて勝山に帰ってきてほしい。U・ターンの施策を行っているがまだ十分に効果は上がっていない。というのは日本の地方都市が同じ施策をやっているから。やはりU・ターンをして勝山に縁のある人が勝山のフィールドで仕事を

し、子供を育てながら生きていく、勝山は素晴らしいということをアピールしながらやっていきたい。

今年度は、新型コロナウイルス対策と雪への備えが中心になるが、子育て支援策もしっかりやっていきたい。不妊治療については県内トップの補助を創設する。要件の緩和をしながら補助金額もアップする。

市民の皆様と一緒にやっていく形で市政を進めていきたいので、ご協力をお願いしたい。

森本副委員長 本日はお忙しい中、いろいろお話を聞かせいただきましてありがとうございます。

20年間の市の職員としてやってこられたことを活かしつつ、市長として頑張っていたかと思いますが。

本日は本当にありがとうございます。





コロナ禍を乗り越えて、同郷の集い「第67回の開催に向けて」

会長 前川 邦生

令和元年11月頃より、中国武漢に端を発したコロナウイルスが日本の対応の遅れから、中国からのインバウンド（旅行者受け入れ中止）政策の中止の遅れにより、拡大した。東京の屋形船からの拡大や大阪等の旅行者から日本国内のタクシー運転手への拡大、ツアーコンダクターへの拡大が広まった。特に、横浜港に入った「大型クルーズ船・ダイヤモンド・プリンセス」号からの拡大は厳しいモノを感じた事であった。

今日、あれから1年4か月余りを過ぎようとしておりますが、首都圏を中心に収まる処を知らないところである。令和3年1月の勝山市の皆さんへの豪雪被害をお見舞い申し上げます。

昨年度（令和2年）は「東京勝山会」の総会・懇親会

を開催できず中止となった。令和3年度開催は10月17日（日）の開催実現に向けて、準備を進めております。

多くの参加者とふる里を語り、ふる里（勝山名品）を景品として抽選会を楽しんでいただける時間を共有し、提供できるよう幹事一同努力を致します。

第68回「東京勝山会総会・懇親会」ご案内

日時：2021年10月17日（日）

12時開始～14時30分

場所：東京銀座ライオン銀座7丁目店・6階ホール

会費：8,000円

事務局：東京勝山会事務局 担当 武田 新夫

メール：shinotakedanemu39461@gmail.com

（東京勝山会会長 前川 邦生）



活動報告

久保佳巳

関西勝山会の活動は、コロナ禍において、緊急事態や蔓延防止策などの、厳しい状況の中思うような活動集会などが出来ず、今年年末ごろの予定が組めない状況です。

公共の行事もほとんどが中止の昨今、動きも取れません。会の理事役員の集いも人数制限・会議場所の予約が取れずに活動自体が身動きつかないのです。

本年度の計画を見送るしかないような状態で、心

苦しいところです。

皆様におかれましては、くれぐれもお体大切に生き残るのが最善の方策だと考えます。

事態が好転した段階で、皆様にはご案内申し上げますので、なにとぞご理解をお願い致します。



活動報告

会長 出口 忠夫

東京勝高会はコロナ禍で活動はほとんどストップしています。延期に延期を重ねている総会・懇親会の開催を今年秋にするか来年春にするか検討中です。お互い顔を合わせられない中、横のつながりを絶やさなため、かつて懇親会に出席されメールアドレスが判明している約100名の方々に勝山市や勝高の現況をメールでお伝えしきめ細かく情報共有を図っています。

トピックスは3月17日に「勝高1年生を対象にしたキャリア教育」をオンライン（Zoom）で実施したことです。8人の勝高OB講師が人生経験、そして「将来の人生設計を視野に進路決定を行う大切さ、勝高への愛校心、コロナ禍の苦しい経験を将来に生

かす」など後輩にエールを送りました。東京勝高会はこれからも首都圏在住のOBの連携と勝高支援に努力していきます。



ジオパーク視点で 勝山を再発見

恐竜渓谷ふくい
勝山ジオパーク推進協議会
専門員・博士(理学) 町 澄秋

発掘現場



した。そのときに流れていた河川によって周辺で暮らしていた恐竜が土砂に埋まり、地層と なったものが手取層群北谷層なのです。
今から約2000万年前から1200万年前 にかけて、当時の大陸の縁が裂けて日本列島が

恐竜渓谷ふくい勝山ジオパークは、福井県の勝山市を エリアとするジオパーク※です。「恐竜はどこにいたの か? 大地が動き大陸から勝山へ」をメインテーマとし、 その大地には、恐竜が暮らした大陸の時代から日本海が 形成され、現在に至るまでのダイナミックな地球の歴史 が地層や岩石、地形として記録されています。このメイ ンテーマのもとに、「恐竜・恐竜化石」、「火山と火山活 動」、「九頭竜川などの河川とその地形」という3つのサ ブテーマを設けています。

恐竜化石の産出で有名な勝山ですが、福井県による本 格的な調査が1989年に始ま り、現在まで第一次〜第四次調 査と続き、恐竜を含む多くの動 植物の化石がつつぎと発見さ れています。これまでに5種の 新種の恐竜化石が、この発掘現 場から発見されています(日本 全体でも9種のみ)。この恐竜 化石の見つかる地層(手取層群 北谷層)は、約1億2000万 年前(白亜紀前期)の地層で す。勝山で見つかる恐竜たちが 暮らした時代には、まだ日本列 島は存在しておらず、恐竜たち は大陸の太平洋で暮らしていま



日本列島は大陸の一部だっ た(〜2000万年前)



日本海が開いて多くの島が ある海になった(〜1600 万年前)



西日本が時計まわりに東日 本が反時計まわりに回転し た(〜1200万年前)



約100万年前の日本列島

形成されました。このとき、恐竜たちが眠る手取層群も地層として運ばれ てきたのです。大地が裂けることに伴って、大規模な火山活動が起こりま した。古い火山なので現在では、当時の地形は完全に失われ、火山から噴 出した火山灰や礫、溶岩が地層として残っているだけです。この時代の地 層は、日本列島の日本海側を中心に広く分布しており、福井県内では足羽 山から切り出されていた笏谷石がこの地層に相当します。勝山市にも分布 しており、遅羽町の三室山や九頭竜川河床、北郷町岩屋の大鷲滝などで見 ることができます。

現在日本列島の下に、東側からは太 平洋プレートが、南側からはフィリピ ン海プレートが沈み込んでいます。こ のように一方のプレートが他方のプ レートの下に沈み込む場所では、地震 が多く発生します。また、火山も多く 形成されます。実は日本列島誕生以前 から現在に至るまで、プレートの沈み 込みが続いており、ずっと火山活動が 活発に起こってきました。勝山市内でも恐竜時代の火山活動の痕跡や約100万年前の火山活動の痕跡を地層や 地形としてみることができます。例えば、荒土町松ヶ崎の九頭竜川河床に ある赤岩は、恐竜時代の火山活動で噴出した火山灰が固まった地層です。 また、法恩寺山にあるスキージャム勝山は、法恩寺火山の溶岩が固まって できた地形を活用したゲレンデなのです。

約1億2000万年前に形成された手取層群は、その後の度重なる火山 活動による火山噴出物によって覆い隠されました。このままでは、手取層 群は厚い火山の地層に覆われたままです。恐竜化石の発見に大きな役割を 果たしたキーとなったのが河川です。勝山市内では手取層群は、九頭竜川 の支流の谷に沿って露出しています。つまり河川の浸食が、火山性の堆積 物を浸食し、手取層群をはじめ地表に露見させ、現在のような恐竜のま ち勝山の成り立ちにいたったのです。



大矢谷白山神社の巨大岩塊

白山平泉寺



白山と九頭竜川



東低になり、北西の乾いた冷たい季節風が大陸から吹いてきます。それが日本海にさしかかると、対馬暖流から大量の水蒸気を取り込み湿った風となります。この水蒸気を含んだ風が、日本列島の高い山にぶつかるときに積乱雲を作り、これが雪をもたらします。つまり、日本海がなければ、雪を頂いた白い山は誕生せず、白山信仰の拠点の白山平泉寺が勝山に築かれることもなかったかもしれないのです。今年の1月の豪雪のように、短い期間に記録的な降雪があると、雪崩の発生や家屋の倒壊などの被害、交通等のインフラの麻痺、除雪中の事故などさまざまな問題を発生させてしまうこともあります。一方で、雪が降る地域だからこそ、生まれた文化もあ

このように、勝山で恐竜が見つかるまでに多くの地球の活動が、勝山の大地にも記録されています。さらに、それらの活動は現在の私たちの生活にも影響を与えています。白山平泉寺（現在の平泉寺白山神社）は、白山信仰の拠点として繁栄しました。全盛期を迎えたのは室町時代後半で、48社・36堂・6千坊が存在していたと伝えられています。では、なぜ白山が信仰の対象となったのでしょうか？ 独立峰である白山は、平野部や日本海からもその姿を見ることができ、その山頂部には、1年の大半、雪を頂いています。まさに白い山の姿を呈しているわけです。その信仰がいつ始まったのかは、正確には分からないものの、農業用水の源である水神様として、また海上交通の目印となることから航海の守護神として信仰されるようになったようです。では、その白山のゆえんともなった冬の間に

もたらされる雪はどのように降るのでしょうか？ 冬に日本列島周辺の気圧配置が西高東低になり、北西の乾いた冷たい季節風が大陸から吹いてきます。それが日本海にさしかかると、対馬暖流から大量の水蒸気を取り込み湿った風となります。この水蒸気を含んだ風が、日本列島の高い山にぶつかるときに積乱雲を作り、これが雪をもたらします。つまり、日本海がなければ、雪を頂いた白い山は誕生せず、白山信仰の拠点の白山平泉寺が勝山に築かれることもなかったかもしれないのです。今年の1月の豪雪のように、短い期間に記録的な降雪があると、雪崩の発生や家屋の倒壊などの被害、交通等のインフラの麻痺、除雪中の事故などさまざまな問題を発生させてしまうこともあります。一方で、雪が降る地域だからこそ、生まれた文化もあ



小原集落



鯖の熟れ鮓

冬の晴れ間に見られる美しい雪景色も雪国ならではのものです。

勝山市をエリアとする恐竜渓谷ふくい勝山ジオパークでは、地域の資源が生まれた背景にある大地の物語を伝え、守り、活用し、後世へと引き継ぐため、ガイドの養成やジオツアーの開催、ジオパーク学習の実施、各種イベントの開催をしています。この活動を通して、地球および地域の過去・現在・未来を考え、地球に寄り添い、地域に寄り添い暮らしていける持続可能な世界を目指しています。

※ジオパークとは、「地球・大地 (Geo)」と「公園 (Park)」を組み合わせた言葉で、「大地の公園」を意味し、地球 (Geo) を学び、まるごと楽しむことができる場所を指します。このプログラムは、地域資源を活かし、地域社会の持続可能な開発を通じて、認定地域内にある価値ある地球活動の痕跡を守り、未来に引き継いでいくことを目的としています。UNESCOの認定した「ユネスコ世界ジオパーク」と日本ジオパーク委員会が認定した「日本ジオパーク」がありますが、どちらも同じ理念の元活動しています。日本には現在43のジオパークがあり（9つの世界ジオパークを含む）、勝山市は2009年に日本ジオパークに認定されました。



ふるさと納税でたくさんの応援をありがとうございます

2,635件 60,481,166円 (R2.1月~R2.12月受付分)

皆さまからいただいた寄附金は、ジオパークによるまちづくりの推進、子育て支援や教育環境の充実、白山平泉寺の整備やPR、総合的な防災体制の実現など、勝山市が実施する幅広い分野の事業に活用させていただきます。

長宅 芳男 様	—	竹生 幹夫 様 (神奈川県)	40,000円
辻本 菊夫 様 (千葉県)	—	三屋 清栄 様 (石川県)	—
勝山 彰 様 (群馬県)	—	島田 春吾 様	—
龍 倫之助 様 (東京都)	—	国村 守 様 (石川県)	40,000円
皿澤 康孝 様 (東京都)	—	西野 隆 様 (石川県)	100,000円
皿澤 朝子 様 (東京都)	—	多田 重信 様	—
佐野 幸男 様 (東京都)	—	近藤 義親 様 (大阪府)	50,000円
山内 陽子 様 (福井県)	100,000円	多田 治樹 様	—
吉田 数子 様	113,000円	山口 茜 様 (熊本県)	—
山岸 吉則 様	—	芳村 幸宏 様	33,000円
皿澤 宏章 様 (東京都)	—	小杉 淳 様 (兵庫県)	47,000円
皿澤千枝美 様 (東京都)	—	細野 治 様 (群馬県)	200,000円
安居 早苗 様 (京都府)	300,000円	前澤 友作 様 (千葉県)	5,000,000円
栃木 邦彦 様 (東京都)	80,000円	森内 俊司 様	—

(受付順)

※公表を承諾された方のみ掲載しております。

※県の共同窓口を通じたご寄附を含みます。

※ガバメントクラウドファンディングへのご寄附は含みません。

※誌面の都合上、3万円以上のご寄附をいただいた方のみ掲載しております。

ガバメントクラウドファンディング・災害支援へのご寄附ありがとうございました!

市内・市外を問わず、たくさんの方々のご厚情を賜りました。いただいた寄附金は、それぞれの事業に有効に活用させていただきます。

★ 新型コロナウイルス感染症対策応援給付金 ★

133件 10,285,924円 (R2.8月終了)

⇒市が実施する新型コロナウイルス感染症対策に活用させていただきます。

★ 令和3年雪害支援寄附金 ★

76件 3,238,000円

⇒令和3年1月発生しました大雪による災害に対し多くの方から災害支援寄附金を賜りました。

いただいた寄附は、市内除雪や家屋、農業用ビニールハウス等の損壊の補助などに活用させていただきます。



ゆっくりのんびり観光にきませんか?



ふるさとルネッサンス委員

(順不同・敬称略)

委員長 阿部 光 郎 副委員長 森本 陽子 委員 荒井 由泰
委員 四谷 由起夫 委員 荒尾 るみ子 委員 永井 正美

発行/ふるさとルネッサンス委員会 (事務局) ジオパークまちづくり課
〒911-8501 福井県勝山市元町1丁目1-1 TEL.0779-88-8126 FAX.0779-88-1119
E-mail:geopark@city.katsuyama.lg.jp 勝山市ホームページ:http://www.city.katsuyama.fukui.jp